

# 最近の感染症流行状況について

2023年11月14日（火）

理事 川上一恵

# 新型コロナウイルス感染症

## ①-1 定点医療機関当たり患者報告数



(注) 医療機関からの報告に基づき、遅って修正が加わる可能性がある

# インフルエンザ

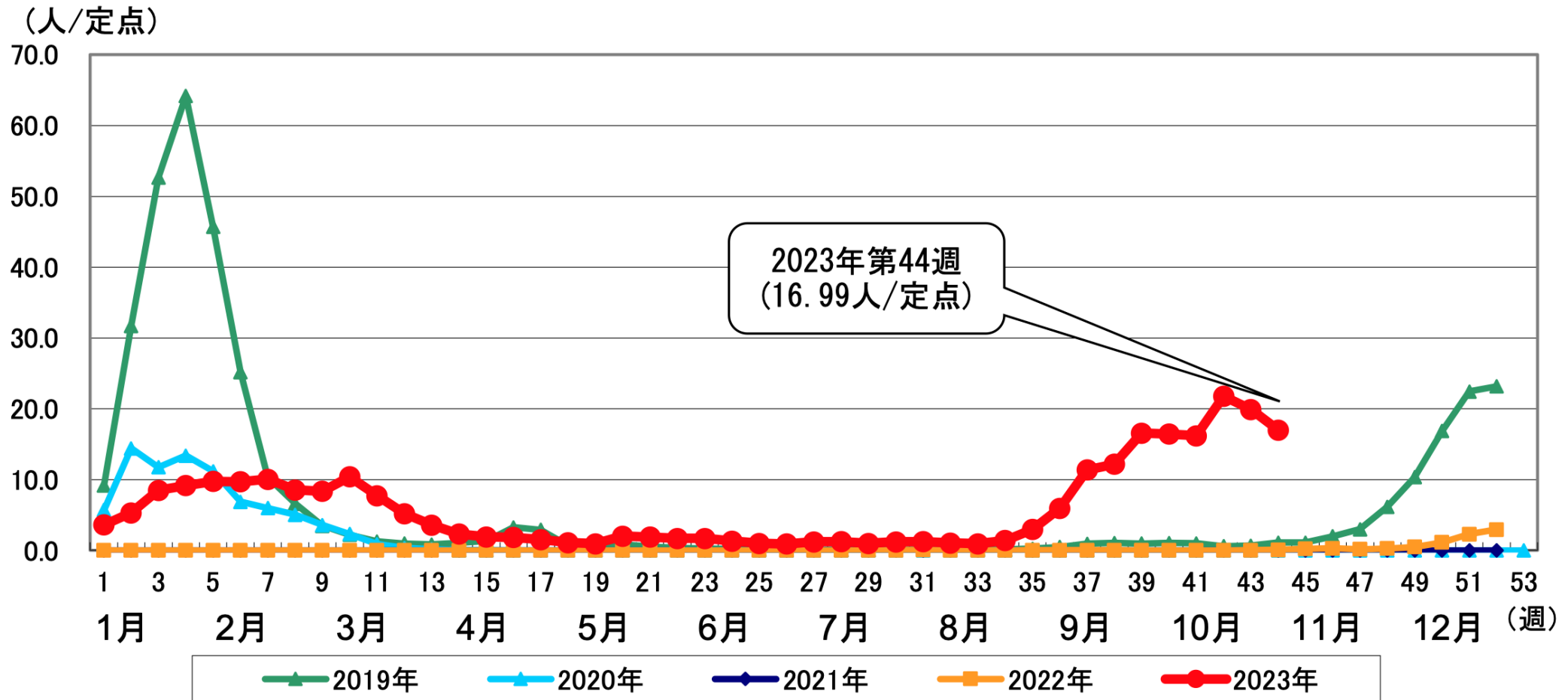
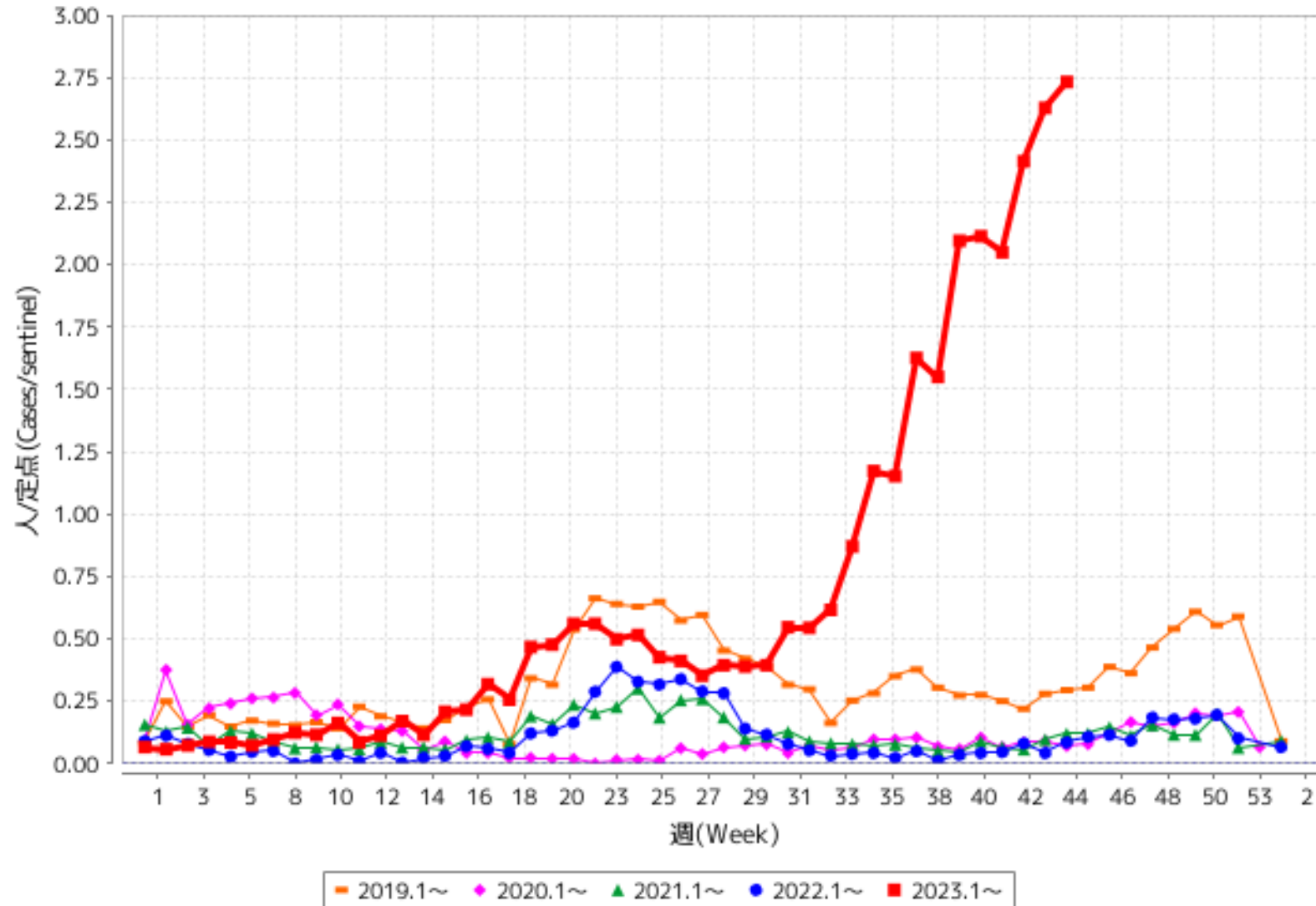


図1. 東京都内における定点当たり患者報告数の年別推移\*

# 咽頭結膜熱



# 母子感染

何らかの微生物（細菌、ウイルスなど）が、母親から赤ちゃんに感染すること。

- 1) 胎内感染・・・胎児の時に子宮内で感染する
- 2) 産道感染・・・分娩が始まって、産道を通る時に感染する
- 3) 母乳感染・・・母乳を介して感染する

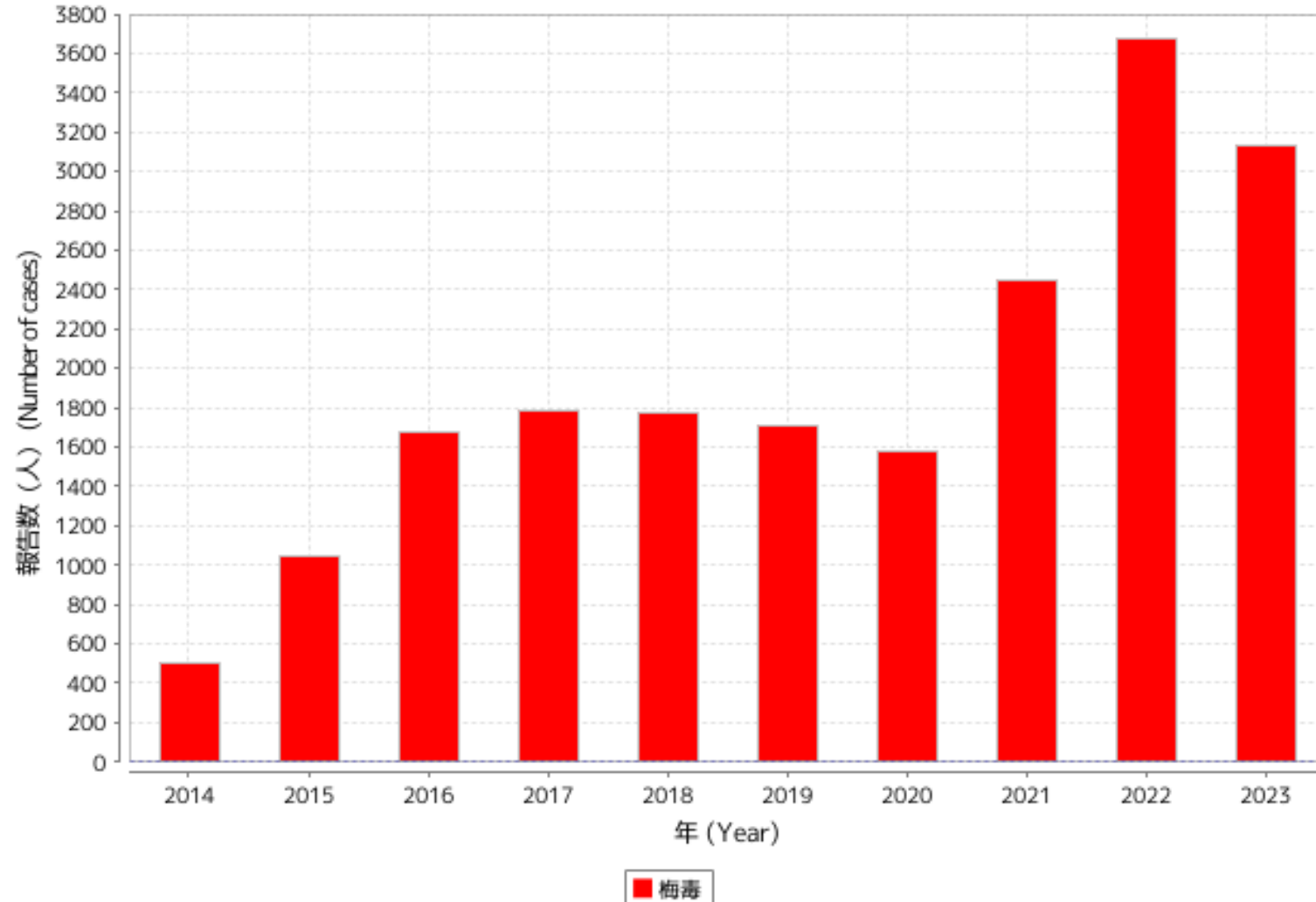
# どんな病原微生物が母子感染をきたすか？

- 風しんウイルス
- 梅毒トレポネーマ
- HIV（ヒト免疫不全ウイルス）
- B型肝炎ウイルス
- HTLV1（ヒトT細胞白血病ウイルス1型）
- 単純ヘルペスウイルス1型・2型
- サイトメガロウイルス
- ヒトパルボウイルスB19（りんご病、伝染性紅斑）
- リステリア
- C型肝炎ウイルス
- トキソプラズマ（原虫）
- B群溶連菌

# ワクチンがあるのは？

- 風しんウイルス
- 梅毒トレポネーマ
- HIV（ヒト免疫不全ウイルス）
- B型肝炎ウイルス
- HTLV1（ヒトT細胞白血病ウイルス1型）
- 単純ヘルペスウイルス1型・2型
- サイトメガロウイルス
- ヒトパルボウイルスB19（りんご病、伝染性紅斑）
- リステリア
- C型肝炎ウイルス
- トキソプラズマ（原虫）
- B群溶連菌

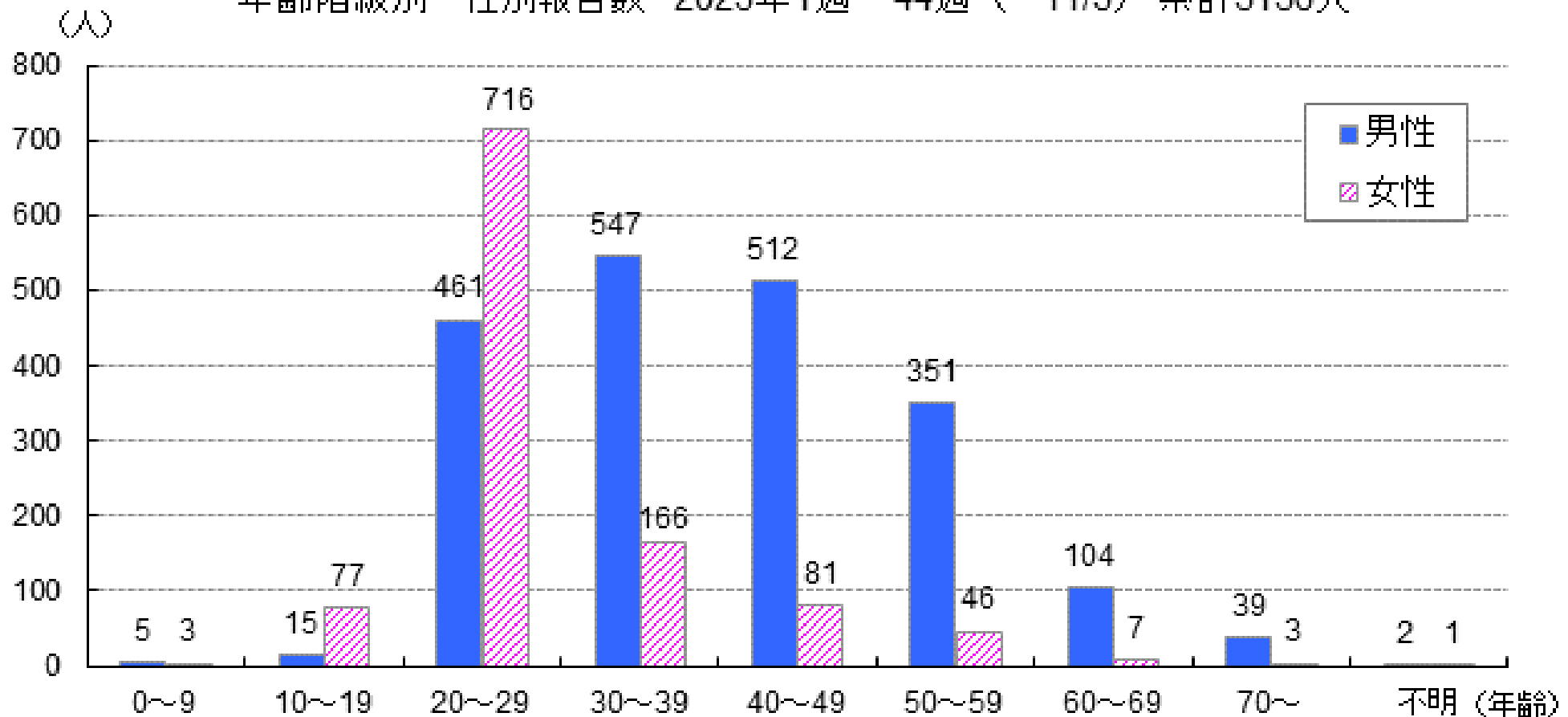
# 梅毒の報告数（東京都）





# 性・年齢階級別 梅毒報告数 (東京都)

年齢階級別・性別報告数 2023年1週～44週 (～11/5) 累計3136人



# 先天梅毒の報告数

- 2023年10月4日までに全国で32人！  
過去の最多は2019年の23人

妊娠12週の妊婦健診で血液検査を行う。検査を受けなかったり、受けて陽性と診断されても治療しなかった場合40%の胎児が先天梅毒になる。治療を受けても14%は先天梅毒なる。

妊娠前に検査を受けることが最善の策

# 先天梅毒の症状

梅毒に罹患した母体から胎盤を介して胎児に梅毒トレポネーマが感染することにより、母体のいずれの病期でも起こりうる。

出生時は無症状のことが多い。

**早期先天梅毒**では、生後数ヶ月以内に水疱性発疹、斑状発疹、丘疹状の皮膚症状に加え、全身性リンパ節腫脹、肝脾腫、骨軟骨炎、鼻閉などを呈する。

**晚期先天梅毒**では、生後約2年以降にHutchinson 3徴候（実質性角膜炎、内耳性難聴、Hutchinson歯）などを呈する。

# 梅毒感染の予防

- 梅毒に罹患した者との性交渉を避ける
  - 性交渉の際はコンドームを適切に使用する
  - 不特定多数の人との性的接触が感染リスクを高める
  - オーラルセックスやアナルセックスでも感染する
- 
- 医療機関においては、梅毒の早期診断、早期治療、パートナーなどの受診勧奨や、他の性感染症の疑いで受診した人に対して積極的に梅毒の検査を行う